

LAWN MOWER

電気

芝刈機

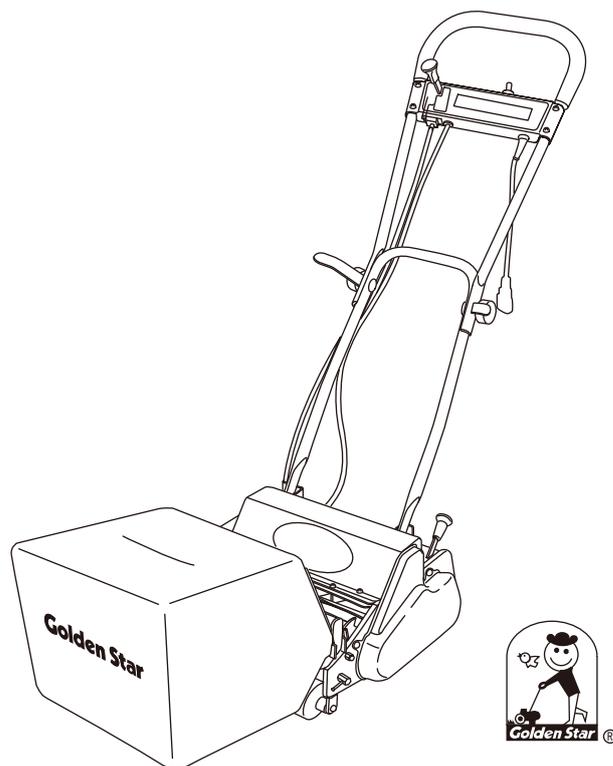
ハイパーグリーンモアー ハイアンドロー

GAH-3000H&L

このたびは、ゴールデンスター／ハイパーグリーンモアー ハイアンドローをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は運転操作および保守上の重要な項目について説明したものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、お使いになる方がいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。



— 頑丈・安心・日本製 —

目次

安全にお使いいただくために	2	お手入れ方法と保管方法	16
各部の名称と仕様	6	1. お手入れ	16
芝刈機の手入れ	8	1-1. 回転刃と受刃のすり合わせ調整	17
1. モーター始動までの準備	8	1-2. 回転刃と受刃のラッピング研磨	18
1-1. ハンドルを本体へ取付ける	8	1-3. 自走クラッチケーブルの調整	20
1-2. グラスキャッチャー（集草器）を組立てる	9	1-4. Vベルトの点検と交換	22
1-3. 刈高さ（刈った後の芝生の長さ）を設定する	10	1-5. 芝刈機のお手入れ	23
1-4. グラスキャッチャーを取付ける	11	2. 保管について	24
1-5. 作業前の点検をする	11	2-1. 長期保管後のご使用について	24
2. 芝刈作業	12	トラブルシューティング	25
2-1. 電源プラグを接続する	12	1. こんなときは	26
2-2. 芝刈作業をする	13	1-1. ブレーカーが作動した時は	26
2-3. 芝刈作業を終了する	15		

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

警告

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する恐れがある内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

注意

軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

- この取扱説明書は本機を操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
 - 本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
 - 紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。
-

安全にお使いいただくために

⚠ 危険



よく読む

使用前に取扱説明書をよく読む

- 芝刈機を使用する場合は、取扱の方法、作業の仕方等を習得してから慎重に芝刈作業をしてください。



禁止

芝刈作業以外には使用しない

- 本機は芝生を刈るために設計・製造されていますので、芝刈作業以外には使用しないでください。目的以外で使用されますと、ケガや事故の原因になります。また本機の寿命を縮めます。

傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしない

- 傾斜地で作業（使用）をすると、本機がバランスを保つことができず転倒し事故が発生する恐れがあります。



刃部に手足等、身体を近づけない

- 本機の点検・調整（特に回転刃の調整）・手入れなどを行う場合は、特にケガ防止の為に必ず革手袋を着用してください。
- 芝刈作業中に回転部や受刃部等に、手や足等で触れないでください。ケガの原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、誰も絶対に刃部に身体を近づけないでください。



子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 本機に子供や物品を乗せたり、子供に操作をさせないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- 疲れている場合は使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- グラスキャッチャー、各部のカバー類を外した状態では危険ですので、使用しないでください。

雨天のときは芝刈り作業をしない

- 芝生が濡れていると転倒によるケガ等の恐れが有り危険ですので、芝刈作業はしないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



点検・確認

使用前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 正常でない機械を使用するとケガや故障の原因になりますので、各部の点検・調整及び組立方法を確認してください。
- 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に動作するか充分点検してください。
- 本機の組立および刃調整を適切に行ってください。



必ず守る

使用前に芝生内の障害物を必ず取除く

- 小石、木片、金属片等があると、刃先等を傷めたり故障の原因及び、障害物の飛散によるケガの原因となりますので取除いてください。

感電の恐れがありますので、下記のことを守って作業する

- 雨中での作業はしないでください。
- 雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
- 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
- 濡れた手でスイッチレバー、電源プラグに触れないでください。
- 延長コードのアースクリップは、必ずアースしてください。
- 延長コードを本機で切断しないよう、充分ご注意のうえ作業してください。

次の作業は本機のメインスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてから行う

- 組み立てる時。
- 回転刃と受刃の調整を行う時。
- グラスキャッチャー（集草器）の脱着時。
- Vベルトの点検、交換をする時。
- 刈高さの調節をする時。
- 回転刃・受刃の交換をする時。
- 回転刃に石、木片等の異物が入って異常を感じた時。
- その他調整・点検・修理を行う時。
- 持ち運びする時。
- 使用しない時。保管する時。

子供やペットを近づけない

- 芝刈作業時に飛散物によりケガをする恐れがありますので、作業員以外は作業場に近づけないでください。

作業に適した服装で作業する

- 操作時は常に安全面に配慮し、長袖・長ズボン（袖・裾のダブつきのない）などの作業服を着用してください。
- 各部の点検、整備、調整及び芝刈作業時は、JIS等の規格に合格した安全帽を着用するとともに革手袋、防塵メガネ・耳栓をつけ、足元の保護のため安全靴を履いてください。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意



必ず守る

本機をぶついたり、落下させたり強い衝撃を与えない

- 刃物や本体などに破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 機械の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品を使用してください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。

濡れた芝生は刈らない

- 感電の恐れがあるばかりでなく、サビなど芝刈機の故障の原因となります。

使用後や収納保管時の注意点

- 使用後は必ず手入れをして、湿気の少ないところに保管してください。湿気の多いところではサビが発生して刃が切れなくなり、故障の原因となります。
- 収納時は、ハンドルを取外す等の処置を施し、芝刈機が倒れても危険のないようにしてください。
- 使用後はお子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。

警告・注意ラベルの貼付位置

安全に使用していただくために、本機には警告・注意ラベルが貼ってありますので、よく読んでからご使用ください。

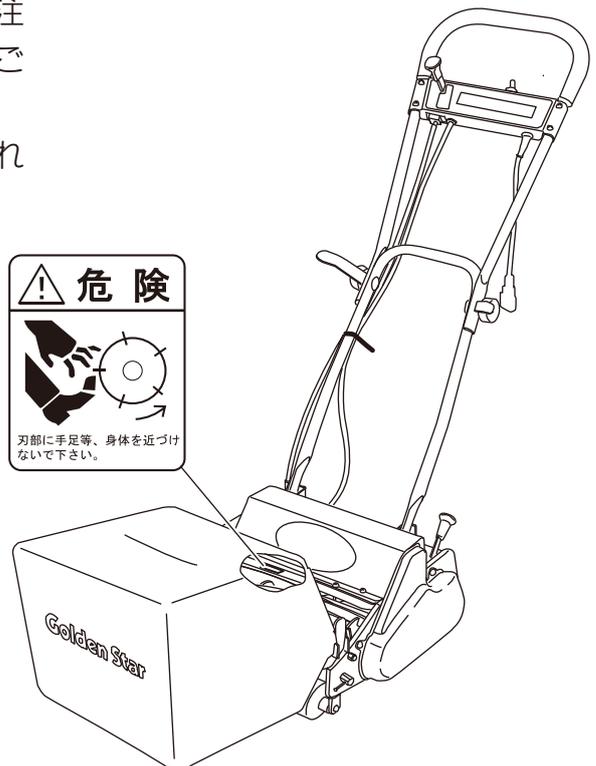
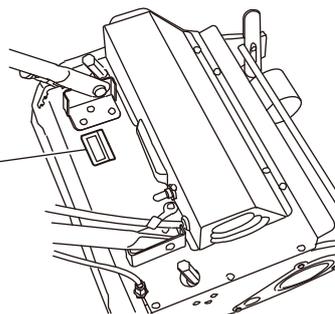
なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。

製造Noラベル

電気芝刈機 GAH-3000H&L型

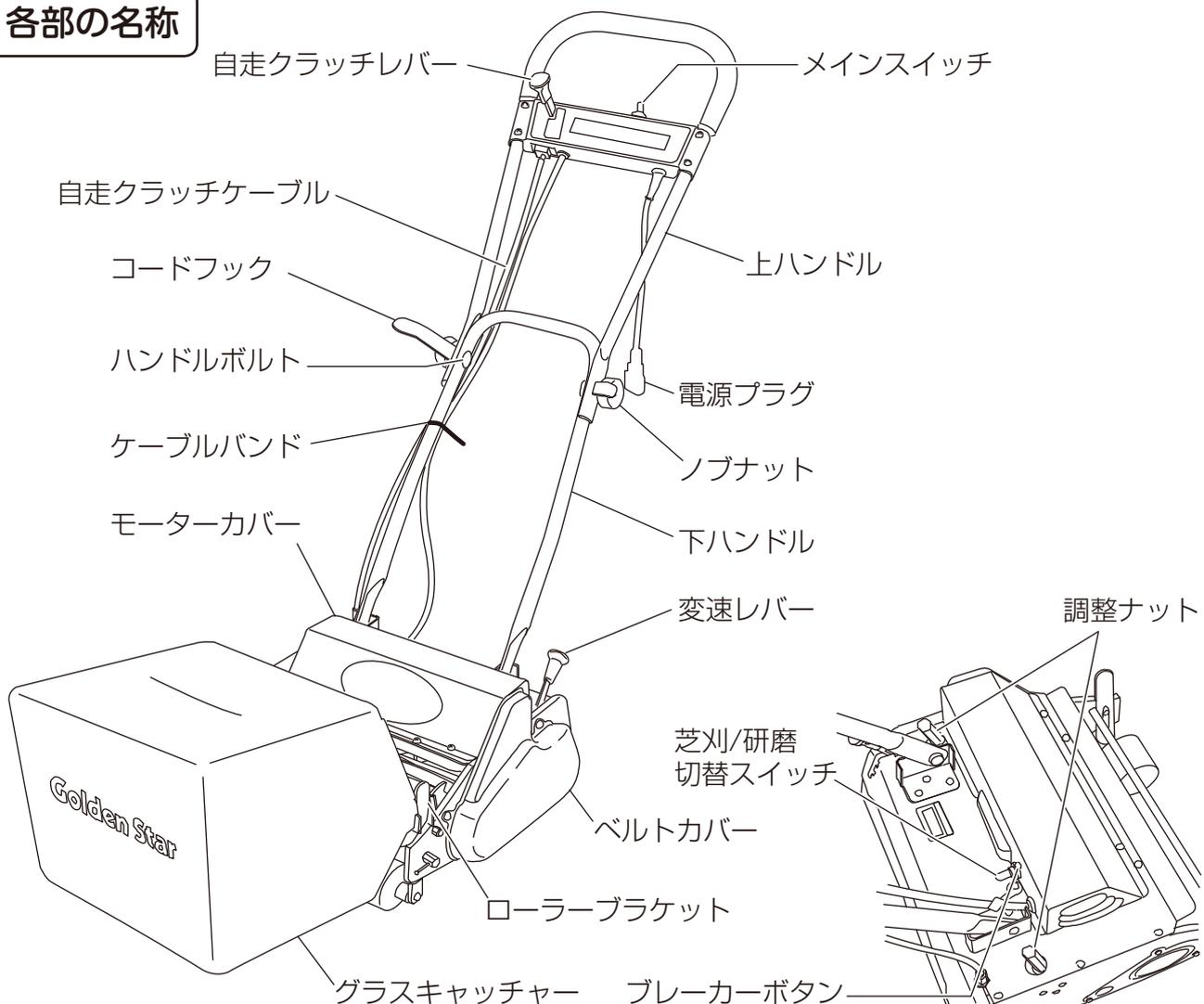
定格電圧 100V
定格消費電力 520W
定格周波数 50/60Hz
Kinboshi E.K. (株)

製造番号 NO *****
Made in Japan



各部の名称と仕様

各部の名称



仕様

型 式	GAH-3000H&L	刈込み幅	300 mm
定格電圧	AC100 V	刈込み高さ	5 ~ 50 mm ^{※1}
定格周波数	50/60 Hz	自走速度	約 1.9/2.1/2.4 km/h (前進3段)
定格消費電力	520 W	刈込み能力	約 290 ~ 350 m ² /h
定格時間	連 続	装備寸法 ^{※2}	(L)1350×(W)425×(H)800 mm ^{※3}
刈込み方法	リールカッター式・8枚刃	乾燥質量	23.3 kg

本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

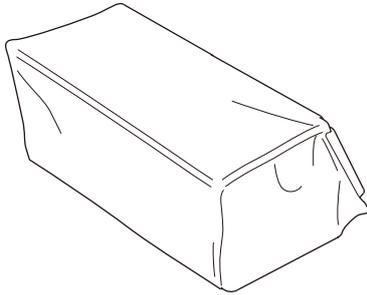
※1 作業される芝生(地面)の条件によって異なります。

※2 “H”はハンドル高さを表します。

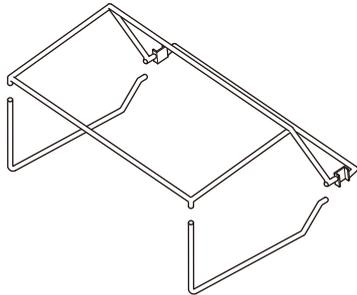
※3 グラスキャッチャー、ハンドル組立て時の寸法です。

各部の名称と仕様

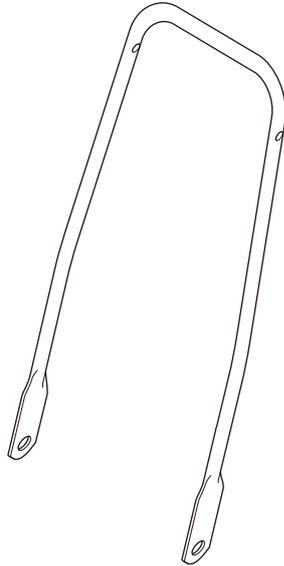
付属部品



キャッチャーバック……1
(底板付)



キャッチャーフレームセット……1



下ハンドル
……1



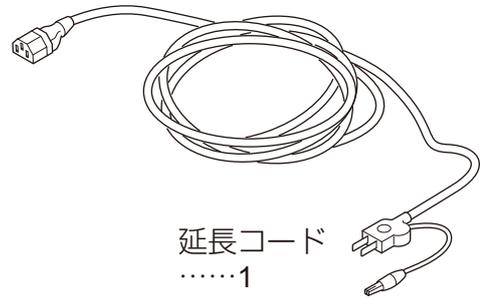
コードフック
……2



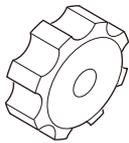
ケーブルバンド
……1



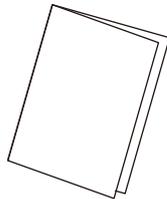
ハンドルボルト
……2



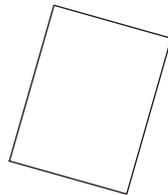
延長コード
……1



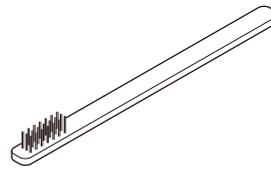
ノブナット
……2



取扱説明書
……1



保証書
……1



ブラシ……1



ラッピング……1
コンパウンド

……1 ツールキット

必ず梱包品の確認を行ってください

⚠ 注意



必ず守る

- 開梱、組立作業は、けが防止のため必ず2人以上で行い、作業者は安全靴・手袋を着用してください。

段ボール箱を開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。

※箱、梱包材は収納時や移送時に必要です。大切に保管してください。

芝刈機の取扱い

1. モーター始動までの準備

⚠ 警告



必ず守る

- ケーブル類を、ハンドルで巻き込んだり、挟み込んだり、折ったりしないでください。本機の性能を充分発揮出来ないばかりか、緊急時に事故回避操作ができない場合があります。

⚠ 注意



刃物注意

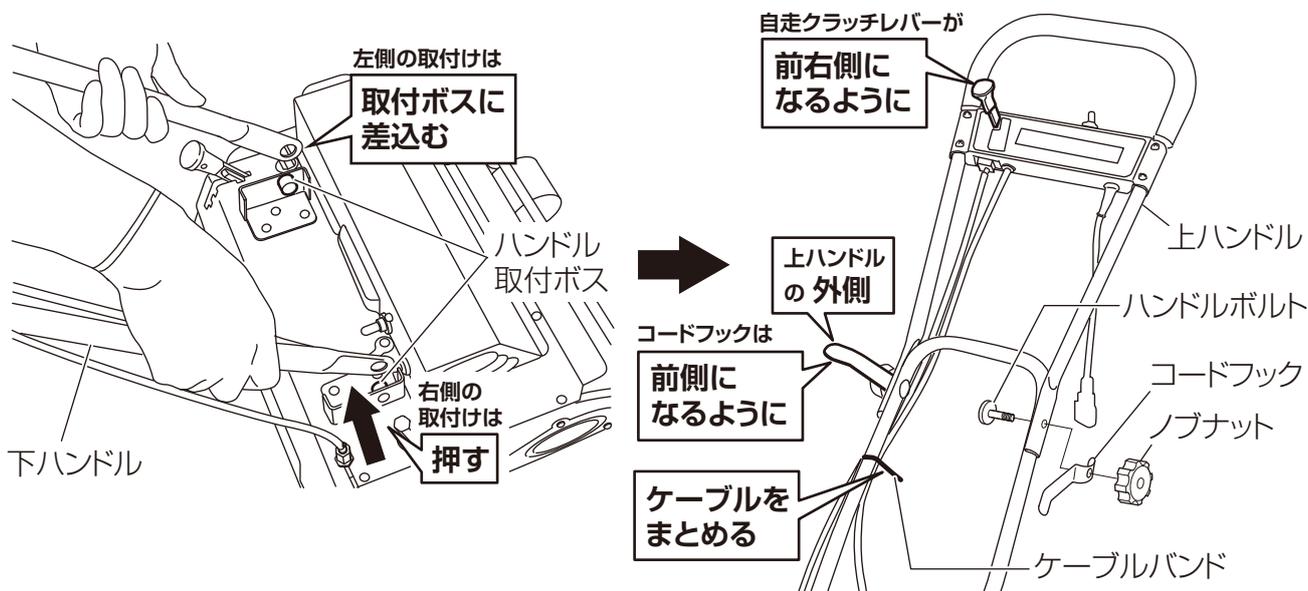
- 本機の組立てや各部の調整を行う場合は、ケガ防止の為に必ず革手袋を着用し、刃部に充分注意してください。

1-1. ハンドルを本体へ取付ける

まず下ハンドルを本機上部のハンドル取付ボスにはめ込みます。次に上ハンドルの自走クラッチレバーが前右側になるように、上ハンドルを下ハンドルに取付けます。

その後ハンドルボルトを内側から入れ、コードフックは前側になるように、上ハンドルの外側に取付け、ノブナットで確実に締付けてください。

最後にケーブルバンドを使って、自走クラッチケーブルなどのケーブル類を下ハンドルにまとめて止めておきます。



ポイント

動画で詳しくご覧になれます。



芝刈機の取扱い

1-2. グラスキャッチャー（集草器）を組立てる

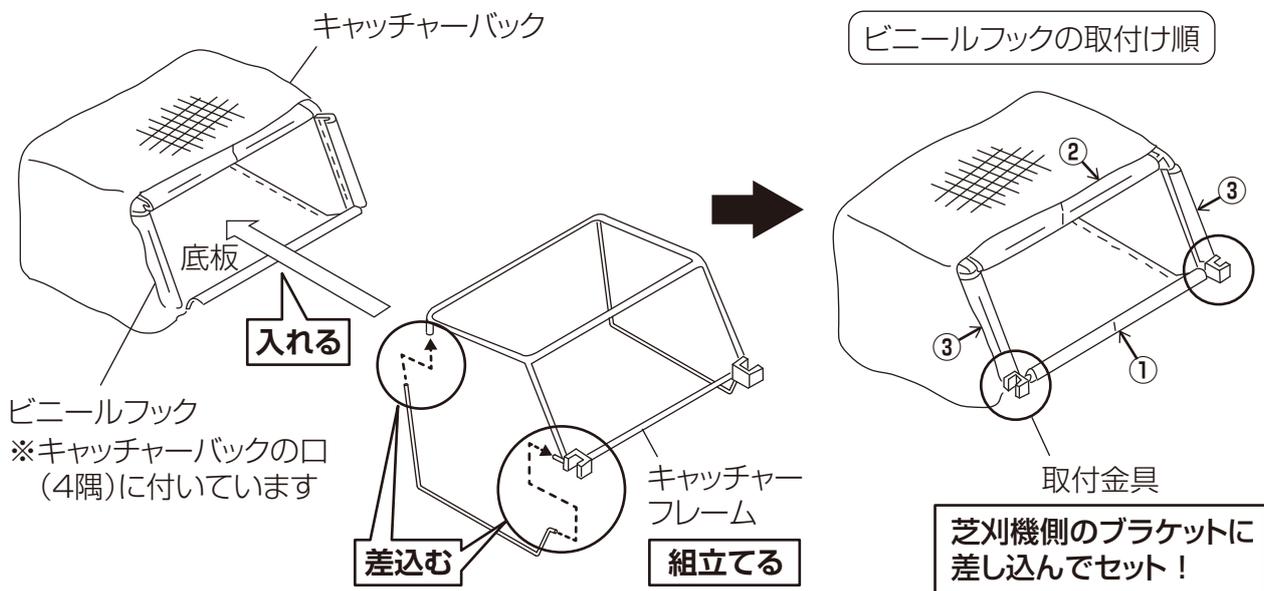
⚠ 注意



必ず守る

- キャッチャーバックをキャッチャーフレームに取付ける時、ビニールフックが堅いので、軍手や革手袋を必ず着用してください。ケガをする恐れがあります。

キャッチャーフレームを組立てた後、キャッチャーバックの中に入れ、ビニールフックを①②③の順でフレームに取付けます。

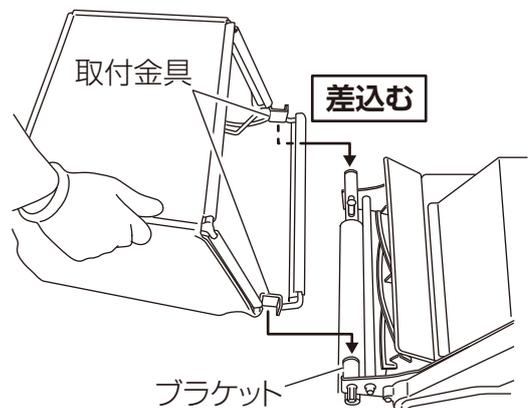


ポイント

- 動画で詳しくご覧になれます。



- グラスキャッチャー（集草器）は芝刈作業に入る前に取付けてください。
なお本機にセットする時は、取付金具を本機の左右ブラケットに上から差し込んでください。



芝刈機の取扱い

1-3. 刈高さ (刈った後の芝生の長さ) を設定する

⚠ 警告



必ず守る

- 刈高さを調節する時は、必ずメインスイッチを『OFF』にし、延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意



刃物注意

- 回転刃に手や指が触れるとケガをする恐れがあります。必ず革手袋を着用し、取扱いには充分注意してください。



必ず守る

刈高さを調節する時は…

- 刈高さ位置は必ず左右同じ位置に合わせてください。左右を異なる位置に合わせると芝生が上手く刈れずに、芝生を傷める恐れがあります。
- 本機を傾けて行うため、手や指、足などを挟まないよう十分に注意してください。
- 必ずハンドルを倒して行ってください。立てた状態で刈高さの調節を行った場合、ハンドルが倒れて身体に当たりケガをする恐れがあります。

- ① 左右のブラケットにある刈高さ調節ノブをゆるめます。

ポイント

刈高さ調節ノブが固くてゆるめられない場合は、お持ちの工具をご使用ください。

- ② ローラーブラケット内側の目盛り (5 ~ 50mm) をフレーム切欠き端に合わせて行います。
この時必ず左右が同じ高さになるように目盛りで合わせてください。
- ③ 刈高さ調節ノブでしっかりと締付けます。

ポイント

- 動画で詳しくご覧になれます。 
- 芝刈作業現場の条件によって、刈高さは多少変化する事があります。

目盛り 合わせ位置

目盛り

フレーム 切欠き端

ゆるむ

締まる

刈高さ調節ノブ

ブラケット

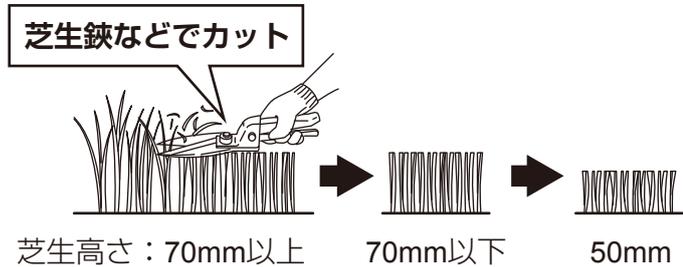
ゆるむ

締まる

刈高さ調節ノブ

ポイント

- 最初は刈高さを高い位置にセットし、日を置いて順次短く刈込むようにしてください。
- 芝生が70mm以上伸びている場合、あらかじめ芝生鋏等で70mm以下に刈込んでください。長すぎる芝生を刈ると、故障の恐れがあるばかりではなく、大切な芝生を傷める場合があります。また、刈跡がきれいに仕上がりにません。
- 一回の刈込みで刈取る芝生の長さは10～20mmになるように、芝生に応じて刈高さを調節してください。
- 刈込み頻度は生育最盛期には週2～3回、それ以外の期間では月1～3回が目安です。



1-4. グラスキャッチャーを取付ける

取付方法は、P.9「1-2. グラスキャッチャー（集草器）を組立てる」のポイントを参照ください。

1-5. 作業前の点検をする

⚠ 注意



必ず守る

- 使用前に本機調整箇所及び、組立て方法を確認してください。異常があれば直ちに修理してください。
- 各部のネジにゆるみがないか、各部品に損傷がないか、また正常に作動するか充分点検してください。

ハンドル・グラスキャッチャー等本機の組立て、刃調整を適切に行っているか、また延長コード、電源プラグなど電線が熱をもったり、断線がないかを確認してください。

芝刈機の取扱い

2. 芝刈作業

2-1. 電源プラグを接続する

⚠ 警告



必ず守る

- 延長コードは、屋外用 125V・7A・0.75mm²以上のキャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルをご使用ください。なお、延長コードの接続は必ず20m以下にしてください。
- 延長コードのアースクリップは必ず接地（アース接続）してください。

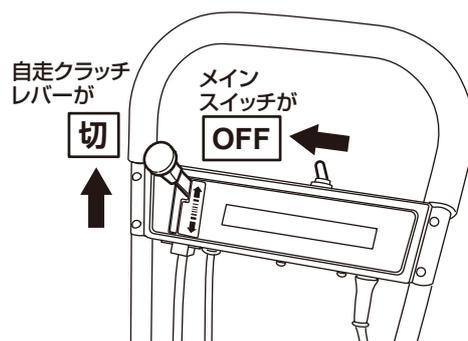
⚠ 注意



必ず守る

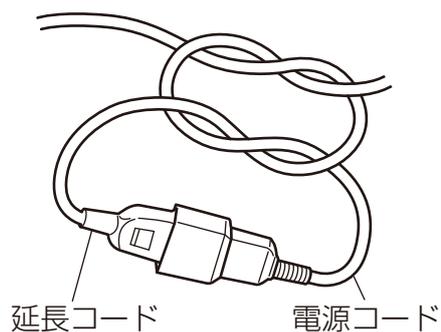
- 必ず家庭用コンセント（AC100V）をご使用ください。エンジン発電機等を使用した場合、本機の故障の原因になります。

- ① メインスイッチが『OFF』、自走クラッチレバーが『切』になっている事を確認後、本機側電源プラグと延長コードのプラグを接続します。

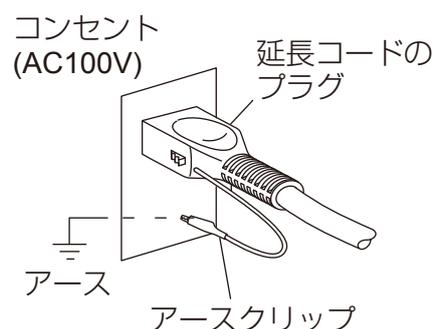


ポイント

このとき軽く結んでおくと使用中、簡単に抜けることはありません。



- ② 延長コードのプラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込み、アースクリップを接地（アース接続）します。



2-2. 芝刈作業をする

⚠ 警告



必ず守る

- 作業中は事故防止の為、取扱説明書の警告の項及び本機の危険、警告ラベルの指示に従ってください。
- 作業に適した服装(裾・袖にダブつきのない長袖・長ズボン)で、安全帽・革手袋・防塵メガネ・耳栓を着用し、足元の保護のために安全靴を履いてください。
- 芝地に小石・木片・金属片等の異物があると飛散物でケガをする恐れがあるばかりでなく、回転刃と受刃に噛込み、刃先を傷め、故障の原因となります。刈込み前に必ず異物を取除いてください。
- 芝刈作業はコンセントに近い方から始め、遠くへ進むようにしてください。万一延長コードを踏んだり巻込んだ場合は、延長コードを切断し感電の恐れがあります。

芝刈機の作動方法

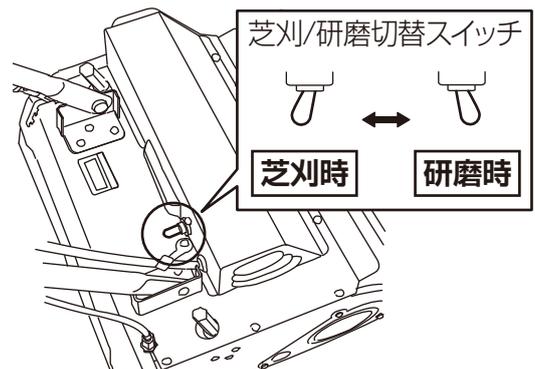
⚠ 警告



必ず守る

- メインスイッチを『ON』にする場合は、必ず自走クラッチレバーが『切』になっている事を確認してから行ってください。自走クラッチレバーが『入』では、いきなり芝刈機が走行してケガをする恐れがあります。

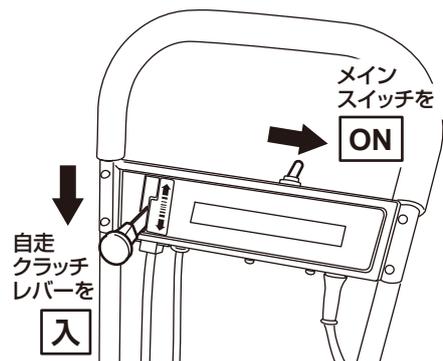
- ① モーターカバー後部の芝刈／研磨切替スイッチが『芝刈』になっているか確認します。



- ② メインスイッチを『ON』にすると、回転刃のみ回転します。

ポイント

- 自走させる場合はメインスイッチを『ON』にした後、自走クラッチレバーを『入』にします。
- 自走速度及び刈高さは芝生の状態に応じて調節してください。



芝刈機の取扱い

芝刈作業の進め方

⚠ 注意

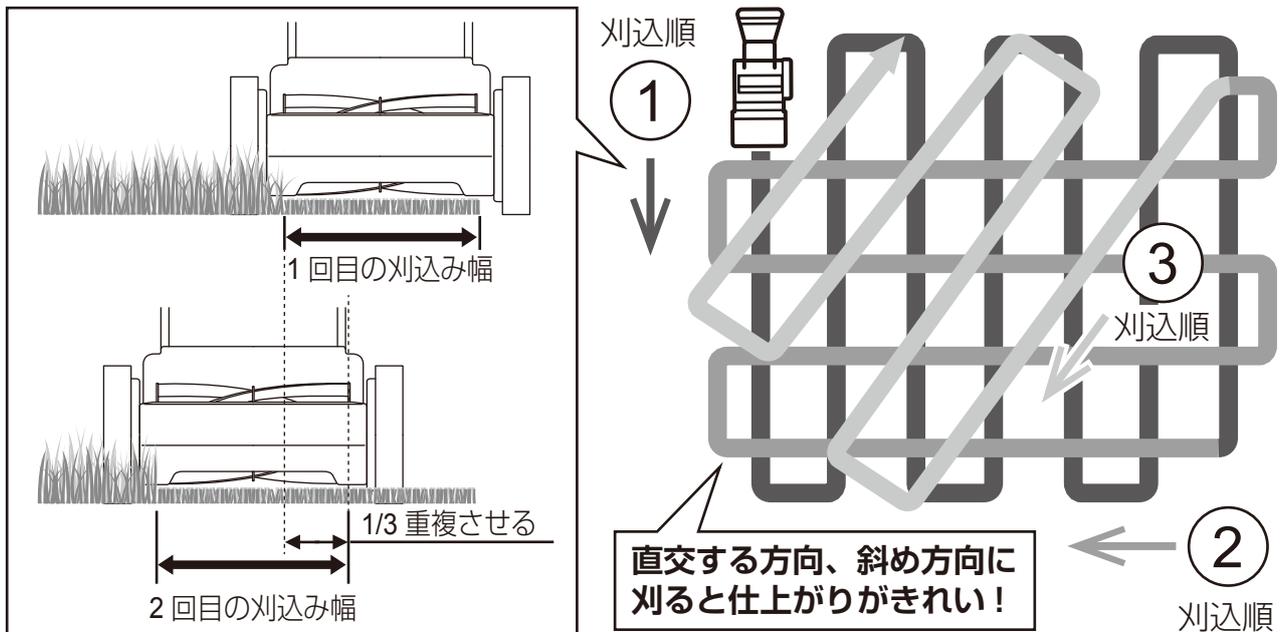


必ず守る

- 長く伸びた芝生を刈取る場合は、最初は刈高さを高くし、順次高さを低くして刈込んでください。最初から短く刈込むと芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も傷めます。

刈込み幅を全部使わず、常に刈込み幅の約 1/3 程度重複して刈れば、平らにしかもきれいに刈込めます。

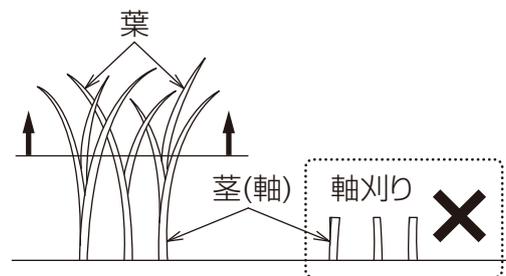
また一通り刈り終えてから今までと直交する方向、斜め方向で刈込めば、さらに刈跡がきれいに仕上がります。



ポイント

● 軸刈りはしない

必ず茎だけ（軸刈り）にならないよう、葉の部分が残るように刈込みます。もし軸刈りになると芝生が枯れ、再生するまでにかなりの時間を要します。



変速レバーの使い方

⚠ 警告

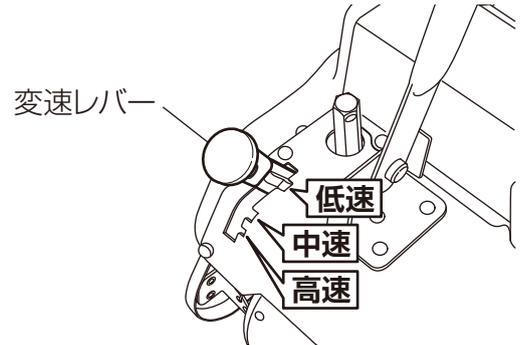


必ず守る

- 変速レバーの操作は必ずメインスイッチを『OFF』にし、自走クラッチレバーを『切』にした状態で行ってください。

変速レバーによって芝刈機の自走スピードを変えることができます。

変速レバー位置	低速	中速	高速
速 さ (km/h)	約 1.9	約 2.1	約 2.4



ポイント

- 変速レバーが重くて操作ができない場合は…
メインスイッチを『ON』にし、モーター・リールを回転させると、操作が軽くなります。
- 変速レバーを高速から中速または低速に切替え、自走クラッチレバーを『入』にしても前進しない場合は…
本機を少し前に押すと正常に前進します。

2-3. 芝刈作業を終了する

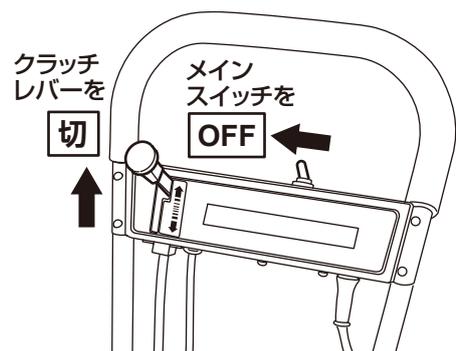
⚠ 注意



必ず守る

- 使用後は延長コードを必ず巻取ってください。

- 自走クラッチレバーを『切』にし、メインスイッチを『OFF』に戻します。
- 次に延長コードの電源プラグをコンセントから抜きます。



お手入れ方法と保管方法

1. お手入れ

⚠ 警告



必ず守る

各点検・整備・調整は…

- 事故防止のために必ず行ってください。
- 必ずメインスイッチを『OFF』にし、延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、回転刃が停止している事を確認した後に行ってください。
- ケガ防止のため、安全帽・防塵メガネ・手袋・安全靴を必ず着用してください。

⚠ 注意



必ず守る

- 本機に異常を感じた時はただちに作業を中止し、修理が必要な場合は必ずお買い求めの販売店へ申し付けください。
- 取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないでください。また必ずゴールドenster純正部品、付属品を使用してください。

お手入れ方法と保管方法

1-1. 回転刃と受刃のすり合わせ調整

⚠ 注意

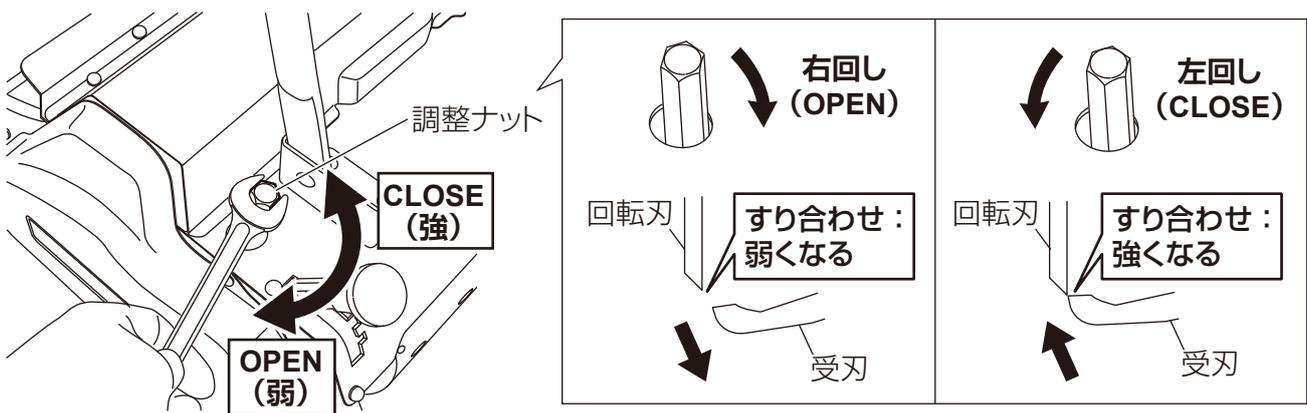


必ず守る

- 輸送中などに回転刃と受刃のすり合わせ調整が変わっている場合がありますので、最初のご使用前に点検及び、調整を必ず行ってください。
- **刃のすり合わせ調整は必ず左右平均に、わずかにすり合う程度とし、すり合わせ音が出ない時は回転刃と受刃の間に隙間があり、まったく切れません。また刃のすり合わせが強すぎると刃物の寿命を短くし、本機に負担がかかり過ぎ故障の原因となりますので注意**してください。

調整のしかた

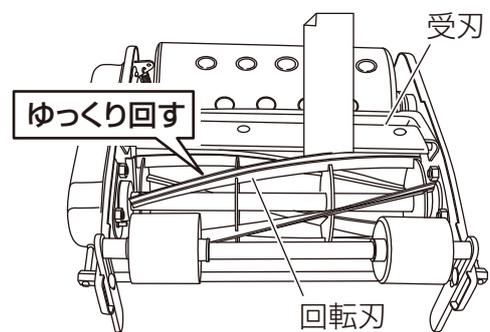
モーターカバー後方の調整ナットを『OPEN』方向に回すとすり合わせは弱くなり、『CLOSE』方向に回すとすり合わせは強くなります。



正しい調整は多少の接触音を出し、回転刃と受刃の間に新聞紙を入れ、回転刃を手でゆっくりと回して切れる状態です。

ポイント

すり合わせ音の比較は、こちらでご視聴
になれます。



お手入れ方法と保管方法

1-2. 回転刃と受刃のラッピング研磨

⚠ 危険



必ず守る

- ラッピング研磨作業中は、芝刈／研磨切替スイッチは絶対に『芝刈』側にしないでください。スイッチを『芝刈』側にして研磨を行うと、巻き込まれる時があり大変危険です。

⚠ 警告



必ず守る

- 必ずメインスイッチを『OFF』にし、延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、回転刃が停止していることを確認した後に行ってください。

⚠ 注意



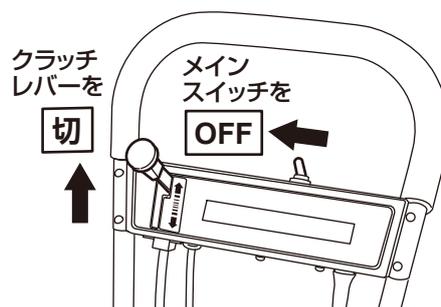
必ず守る

- 研磨作業中は、必ず防塵メガネ・革手袋を着用してください。
- 研磨材は純正コンパウンド (No.538502) を必ずご使用ください。
- 誤って小石・木片・金属片等の硬いものを回転刃にかみ込ませ、回転刃が欠けたり曲がったりした場合は、ラッピング研磨では修正出来ませんので、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。
- ラッピング研磨は簡易的な研磨ですので、新品同様の研磨は出来ません。何度もラッピング研磨した回転刃、受刃は当社サービス部門へ研ぎ直しに出されるか、新品の回転刃、受刃と交換してください。

刃の切れ味が悪くなった場合、ラッピング研磨をして刃を研ぎ直してください。

ラッピング研磨のしかた

- ① メインスイッチが『OFF』、自走クラッチレバーを『切』になっていることを確認します。

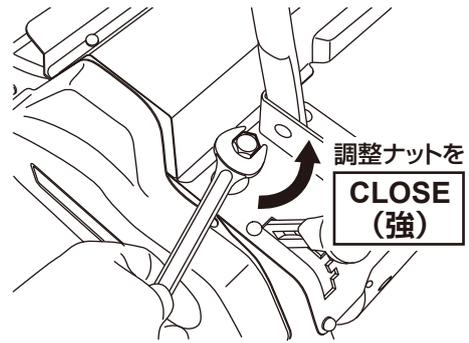


- ② 芝刈／研磨切替スイッチを『研磨』側にします。(回転刃が逆回転します。)

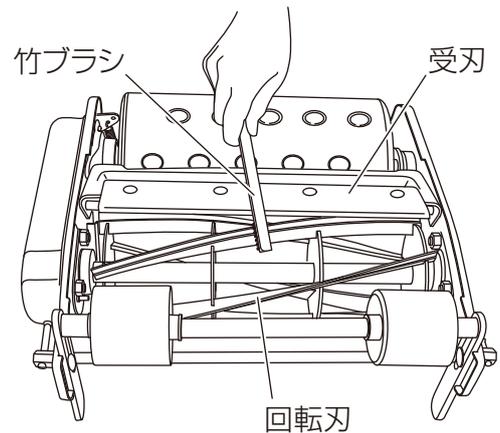


お手入れ方法と保管方法

- ③ 回転刃と受刃の左右の刃のすり合わせ調整をし、**芝刈り時より少し強めで左右均等になるように**します。(P.17「1-1. 回転刃と受刃のすり合わせ調整」を参照ください。)



- ④ 本機を安定した場所に上下反対(受刃を上)に置き、コンパウンド(付属研磨剤)を回転刃と受刃の接触面の一枚一枚に竹ブラシ(付属品)で適量を塗布します。

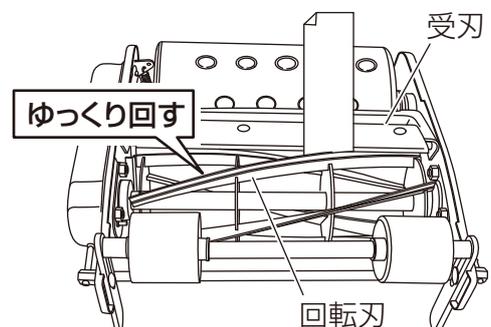


ポイント

- 純正コンパウンド
(100g 入) No.538502
- 
- 
- ※ご用命の際は本機をご購入の販売店、又は貼付の QR コードをお使いください。

- ⑤ 本機を通常的位置(受刃を下)に戻し、延長コードの電源プラグをコンセントに差込み、メインスイッチを『ON』にします。
しばらく回転するとコンパウンドが無くなり接触音が変わるので、メインスイッチを『OFF』にし回転を停止し、延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、③～⑤の操作を数回繰り返します。

- ⑥ 研磨の進行度合いを確認するために乾いた布でコンパウンドを拭取り、刃先が鋭くなったかどうか確認してください。研磨が終了したかどうかを見る場合、P.17「1-1. 回転刃と受刃のすり合わせ調整」の要領で回転刃、受刃との間に新聞紙を入れ、回転刃を手で軽く回します。新聞紙が切れればベストの状態です。



- ⑦ 研磨作業が終わった後は、必ずメインスイッチを『OFF』にし回転を停止させ、延長コードの電源プラグをコンセントより抜いてから、回転刃、受刃に付着したコンパウンド(研磨剤)のカスをきれいにふき取ってください。付着したままにしておくと取れなくなり刃がサビたりして切れ味に影響します。

お手入れ方法と保管方法

1-3. 自走クラッチケーブルの調整

出荷時には調整されています

⚠ 警告



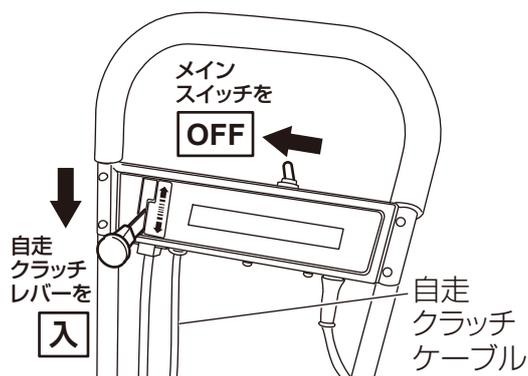
必ず守る

- 自走クラッチケーブルの調整が不十分ですと、本機が不意に走行する場合があります。また、緊急時に本機を停止出来ない場合があります。危険です。

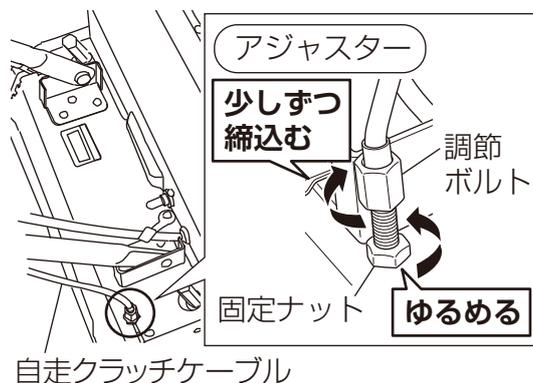
作業中、自走クラッチレバーを『入』側にしても、本機が走行しない場合

(自走クラッチレバーが入っていないと本機は自走しません)

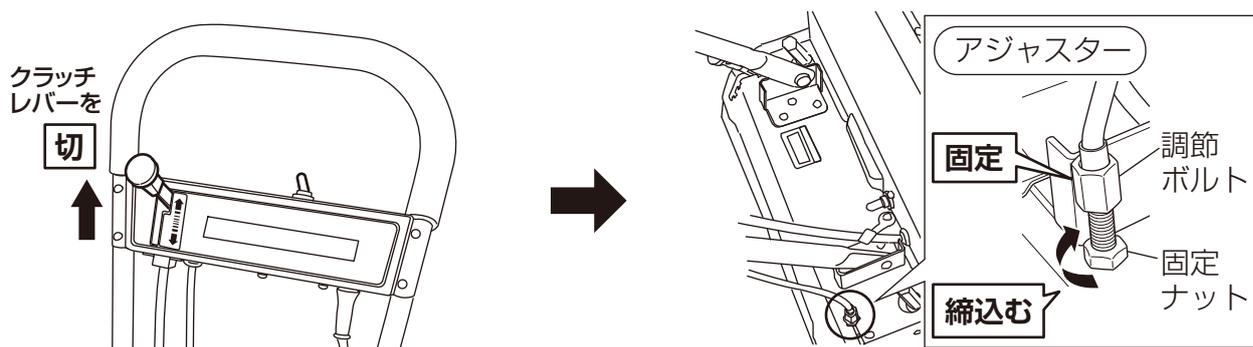
- ① メインスイッチを『OFF』にして、モーターを停止させます。
- ② 自走クラッチレバーを『入』側にします。



- ③ 自走クラッチケーブルについているアジャスターの固定ナットをゆるめ、アジャスターの調節ボルトを少しずつ締込み、クラッチが入る方向に調整します。



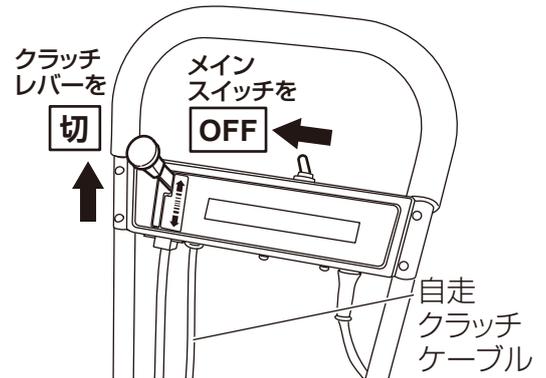
- ④ 本機を後方に引いていき、ある程度引いたところで後ローラーがロックして回らなくなることを確認します。
- ⑤ 次に自走クラッチレバーを『切』側に切換え、本機を後方に引いていき、後ローラーが常にフリーで回転する事を確認したら、固定ナットを締め、調節ボルトを固定します。



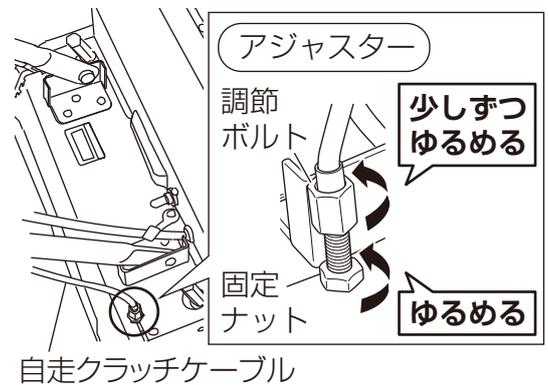
お手入れ方法と保管方法

作業中、自走クラッチレバーを『切』側にしても、本機の走行が停止しない場合

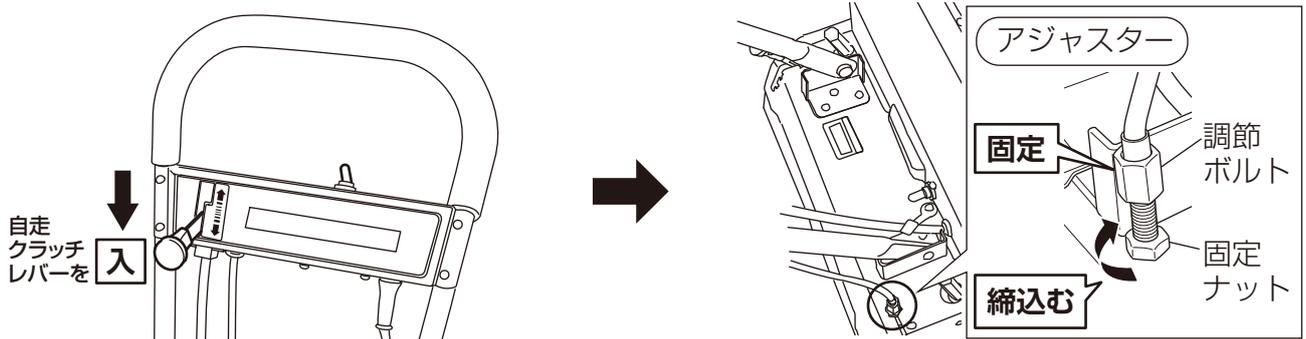
- ①直ちにメインスイッチを『OFF』にして、モーターを停止させます。
- ②自走クラッチレバーを『切』にします。



- ③自走クラッチケーブルについているアジャスターの固定ナットをゆるめ、アジャスターの調節ボルトを少しずつゆるめ、クラッチが外れる方向に調整します。



- ④本機を後方に引いていき、後ローラーが常にフリーで回転する事を確認します。
- ⑤自走クラッチレバーを『入』側に切換え、本機を後方に引き、ある程度引いたところで後ローラーがロックして回らなくなることを確認したら、固定ナットを締め、調節ボルトを固定します。



お手入れ方法と保管方法

1-4. Vベルトの点検と交換

⚠ 警告



必ず守る

- 必ずメインスイッチを『OFF』にし、延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、回転刃が停止している事を確認した後に行ってください。

⚠ 注意

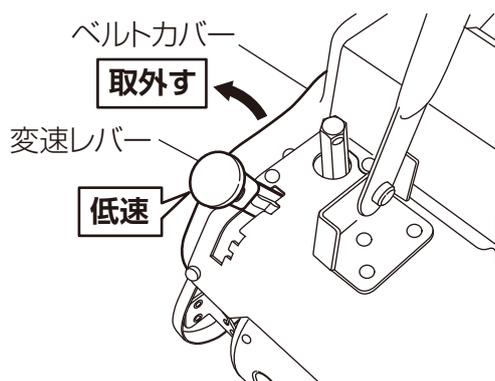


必ず守る

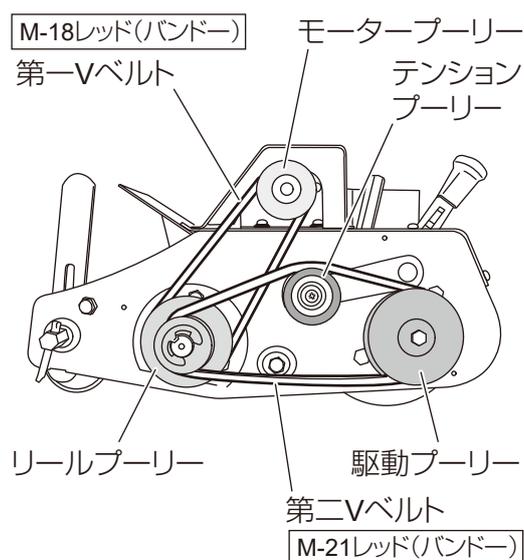
- ベルトカバーを外して定期的にVベルトにワレ、裂け、重度の磨耗等がないか点検してください。
- Vベルトの取付けと取外しを行う時は、取外す時は各大きいプーリー側から、取付ける時は各小さいプーリー側から行ってください。

交換のしかた

- ① ベルトカバーを外し、変速レバーを『低速』にします。



- ② まず第二Vベルトを駆動プーリー側、リールプーリー側の順に外します。
- ③ 次に第一Vベルトをリールプーリー側、モータープーリー側の順に外します。
- ④ Vベルトの取付けは、取外す手順の逆で行います。
- ⑤ 最後にテンションプーリーを第二Vベルトの内側から掛けます。



- ⑥ Vベルトの交換後は、ベルトカバーを確実に取付けてください。

お手入れ方法と保管方法

1-5. 芝刈機のお手入れ

⚠ 警告



必ず守る

- 使用していない時(保管時)は必ずメインスイッチを『OFF』にし、延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意



必ず守る

- 調整、お手入れ等の際は、ケガ防止の為に必ず革手袋を着用し、充分安全に注意して行ってください。
- お手入れの際はガソリン、シンナー、ベンジンは使用しないでください。

いつまでも最良の状態を保つために、ご使用後は本体、受刃、回転刃、グラスキャッチャー、ハンドルをきれいに清掃し、サビ防止のため、機械油をしみこませた布で金属部を手入れし、その後よく乾燥させてください。

また、延長コードはコードフックへ巻いて保管してください。

ポイント

- 芝刈機お手入れセット

No.538503

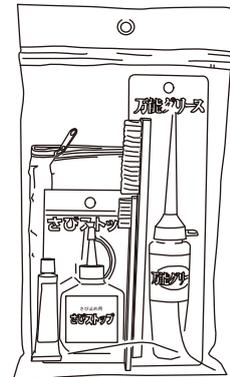


芝刈機のお手入れに欠かせない商品が一袋にまとまっています。

セット明細

- グリス - さび止め - ブラシ(大・小)
- ウェス - コンパウンド - ファスナー付き手さげバック

※ご用命の際は本機をご購入の販売店、又は貼付のQRコードをお使いください。



お手入れ方法と保管方法

2. 保管について

まずハンドルを取外す等の処置を施し、倒れても危険のないようにした後、湿気やホコリが少なく、子供の手の届かない場所に保管してください。

また、長期保管をする前には、刃先や可動部に機械油を注油し、特に回転刃、受刃がサビないように油拭きをしてください。

ポイント

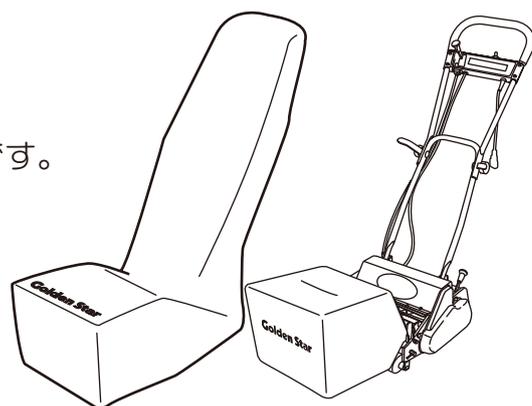
- 電気芝刈機用カバー

No.538506



大切な芝刈機を雨や日差しから保護するカバーです。

※ご用命の際は本機をご購入の販売店、
又は貼付の QR コードをお使いください。



2-1. 長期保管後のご使用について

長期保管後のご使用前は、回転部に機械油またはグリース等を注油してください。

異常がある時はむやみに分解せず、ただちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店またはサービス店へお申し付けください。

トラブルシューティング

本機に異常があれば、修理に出される前に下表より原因を探り適切な対策を施してください。

不調の状況	予想される原因	対 策
モーターが作動しない。	ブレーカーが作動している。	負荷原因である回転刃に詰まった芝生・雑草・異物を取除いてから、ブレーカーボタンを押し、作動確認をする。 (P.26 参照)
	電源プラグ・延長コードがコンセントから抜けている。	正しく接続する。(P.12 参照)
	延長コードが断線している。	延長コードを交換する。
芝生が上手く刈れない。	回転刃と受刃のすり合わせ調整が合っていない。	すり合わせ調整をする。(P.17 参照)
	芝生の刈取り長さが長い。	本機の刈高さを高くするか、芝生の高さを70mm 以下になるように下刈りをする。(P.10・P.11 参照)
	芝刈・研磨切替えスイッチが「研磨」になっている。	芝刈／研磨切替えスイッチを「芝刈」にする。(P.13 参照)
	回転刃・受刃が磨耗・カケ・曲がっている。	回転刃・受刃を交換する。
	刈込み速度が速い。	適正な速度で刈り込む。 (P.15 「変速レバーの使い方」を参照ください)
	芝生が濡れている。	雨後・散水直後等の濡れた芝生は刈らない。
ブレーカーが度々作動する。	芝生の刈取り長さが長い。	本機の刈高さを高くするか、芝生の高さを70mm 以下になる様に下刈りをする。(P.10・P.11 参照)
	すり合わせ調整がきつい。	すり合わせ調整をする。(P.17 参照)
	刈込み速度が速い。	適正速度で刈り込む。(P.15 参照)
	本機電源プラグとコンセント間の延長コードを20m 以上接続している。	延長コードの長さを20m 以下にする。

※表は簡単なトラブルシューティングしか記載しておりませんので、わからない点や複雑な異常はお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

トラブルシューティング

1. こんなときは…

1-1. ブレーカーが作動した時は…

⚠ 警告



必ず守る

- 芝刈機に詰まった芝生・雑草・異物を取除く時は、必ず延長コードの電源プラグをコンセントより抜いてください。

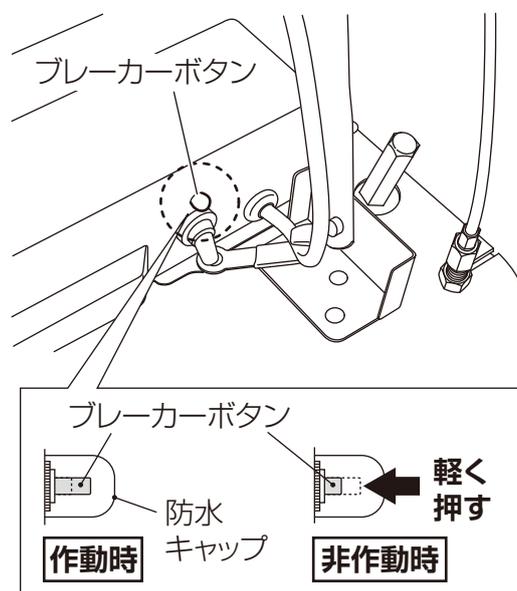
作業中、モーターに異常負荷がかかるとブレーカーが作動して自動的に電源が切れます。

復帰のしかた

- ① すぐにメインスイッチを『OFF』にし、延長コードの電源プラグをコンセントより抜きます。
- ② 異常負荷の原因である回転刃に詰まった芝生・雑草・異物や排出口付近にある芝生、雑草等を取り除きます。
- ③ メインスイッチを『OFF』にしてから、60秒以降にブレーカーボタンを軽く押し込み、延長コードの電源プラグをコンセントに差込みます。
- ④ 動作確認を行ってから作業を再開してください。

ポイント

ブレーカーボタンが押し込み難い場合は、ボールペンの先等のとがったもので軽く押し込んでください。





部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

埼玉県越谷市瓦曽根2-6-34 RSビル205 〒343-0821
TEL (048) 993-4581代 FAX (048) 993-4582

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社